

町会ニュース

第30号
平成26年2月9日
(発行)
箕土路町会



防災訓練の反省と課題

30年以内に確率70%の発生子想

備えあれば憂いなし

1月12日の評議員会にて、11月17日に実施された防災訓練の反省と課題について話し合いました。その内容の要点を町会の皆様にもお知らせ致します。

○車椅子での避難は不要ではなかったか。
▼今も今後、車椅子での避難も当然起きます。今はそうでなくても今後そんな状況になった時、どうするのか、今回の防災訓練は車椅子・担架・AEDと想定される場面での訓練を兼ねていた事もあります。
○隣組で誘いあつてのだった。今回は少しでも参加者

を増やす為の処置でした、今後検討したいと思えます。
○初めての防災訓練に沢山の参加者でよかった。防災意識の高さが理解できた。



▼いつ起きても不思議ではない震災への意識の高さを共有出来た事はよかったと思えます。
○車椅子を使つての避難訓練は、身障者の避難する時の大変さがよく理解できて良かった。
▼いわゆる一番援助を必要とする避難者の中に車椅子の方も当然おられます。そんな方々の為にも日頃から健康者は気を掛けて優しい町作りは防災訓練に限らず必要です。今回の車椅子での避難体験は一定の成果があつたと思えます。
○自宅から避難場所への距離が遠かったので参加者が少なかつた。防災は何処にどの程度の被害が起きる分かります。



ません。今回は箕土路町公園が一番安心な場所と設定しての訓練でした。
○隣組表示の紙は、カラーコーンに貼ると並んだ時に見えにくかつたので、プラカードの様にもう少し高い位置に表示する方がよかつた。
▼班ごとに整理する事の必要性和何処に並ぶかを考えてカラーコーンに表記しましたが、今後プラカード等で目線より高い位置に表示する方法を考えたいと思えます。
○お年寄りの座る場所の為、ブルーシートをもつと増やしてはどうか。



▼ブルーシートの上に乗る方法がいいのか、椅子をもう少し増やして対応する方がいいのか今後の課題にします。実際に被災した時はその場の状況判断での対応が強いと思います。
○避難場所として今後小学校の体育館等の利用も考えていけばどうか。
▼小学校の体育館を避難場所としての訓練は、収容人員の関係で無理があると思えます。校区全体での訓練で事前指定した避難場所の一つとしては考慮も必要です。

要ですが、町会単位の訓練では、箕土路町公園がまだ相応しいのではと思います。
○町会の各団体の連携と団結が発揮されてよかつた。
▼祭礼関係の連携と団結が防災訓練にも大いに生かされたものと思えます。
○進行途中、少し中だるみがあつた。
▼何かいい方法があれば申し出て下さい。共に考えていきましょう。
○水消火器の訓練に子どもも参加は、いたずらの助長につながるのではありませんか。
▼訓練消火は大人でも子どもでも初期消火を考



慮した時、大切な訓練です。万が一の為にあつてはならない事ですが、子ども時には大人が変わつて子どもが消火活動の担い手となる事もあります。その為、正しい消火器の使い方を体験や訓練する事は必要です。以上です。
平成26年度も内容を精査して実施する事を確認しました。
皆様方におかれましては何かご意見等があれば役員もしくは評議員までご一報ください。
自然災害からの逃避や被害を完璧に防ぐ事は出来ません。しかし、訓練を通して少しでも町民の暮らしと生命を守る行動につながるれば幸いです。

街角散歩

南海トラフ 巨大地震の恐怖

政府の地震調査委員会は南海トラフにおける巨大地震の発生確率を発表しました。それによると、

今後30年以内にマグニチュード8以上の巨大地震が起きる確率は、60〜70%程度となるとの事です。
同委員会はこれまで、南海トラフの地震について、「東海」「東南海」「南海」の3つのエリアに分けて発生確率を算出

してきたとの事です。新たな算出方法では、今後マグニチュード8以上の巨大地震の発生確率は、
○10年以内では20%
○20年以内では40〜50%
○30年以内では60〜70%
○50年以内では90%と予測されています。



忘れない阪神淡路大震災の恐怖

2・3月の主な行事予定

2月

9日(日) 評議員会



3月

2日(日) 埋立ゴミ回収
各団体の会計監査日
9日(日) 評議員会
16日(日) 町定期総会

